

# 平成29年度 事業実施計画書

〈別紙-2〉

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	日本風景街道大学 珠洲キャンパス	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域活性化・振興支援事業		事業区分	講座、セミナー、育成	

## 1. 事業目的

日本風景街道は、郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見・創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観・自然・歴史・文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、以って地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興の一助となることを目的としている。  
本事業は、良好なパートナーシップによる日本風景街道の活動の推進を目指し、多様な担い手が共に学ぶ場として開催している。

## 2. 事業実施体制

主催：日本風景街道大学「奥能登絶景街道 珠洲キャンパス」実行委員会  
奥能登岬みちづくり協議会、「道の駅」すず塩田村・狼煙・すずなり、  
珠洲市観光協会、奥能登国際芸術祭実行委員会、珠洲市、石川県、  
国土交通省北陸地方整備局、国土交通省金沢河川国道事務所、  
NPO日本風景街道コミュニティ  
協賛：(一社)北陸地域づくり協会  
後援：金沢大学、珠洲商工会議所、北國新聞、北陸風景街道交流会議

## 3. 事業概要

日時：平成29年10月27日(金) 13:00～17:00、28日(土) 9:00～12:30  
会場：ラポルトすず(珠洲市)  
実施概要(1日目)：  
・基調講演「“最涯”から“最先端”の創造」  
講師：北川 フラム(アートディレクター)  
・パネルディスカッション①「アート・観光を軸にした地域活性化」  
コーディネーター：臼井 純子(NPO日本風景街道コミュニティ 理事)  
・パネルディスカッション②「日本風景街道が担う役割」  
コーディネーター：石田 東生(NPO日本風景街道コミュニティ 代表理事)  
実施概要(2日目)：  
・岬めぐり(現地ワークショップ)  
① 体験コース ② 芸術コース ③ 風景コース  
参加者：約400人

## 5. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

日本風景街道は平成19年にルート登録が開始され、現在までに全国で138カ所のルートが登録がされている。登録当時から数年は、それぞれの団体が個々に活動を展開していたが、活動のマンネリ化や担い手不足で将来展望が見えない状況となった。そこで、各団体のさらなる発展を目指して、活動団体間や他分野との連携、全国の好事例の紹介といった情報共有等を目的に日本風景街道大学が始まった。  
本事業により、奥能登のさいはての地である珠洲市が、これまで気づかなかった地域の魅力を再発見し、地域コミュニティの再生、地域の活性化、観光振興による交流人口の拡大など、地域の発展の契機となることが期待される。



開会式



パネル  
ディスカッション



岬めぐり  
(現地ワークショップ)

